

電子お薬手帳 harmo (ハルモ) 活用の取り組み

2014/07/13

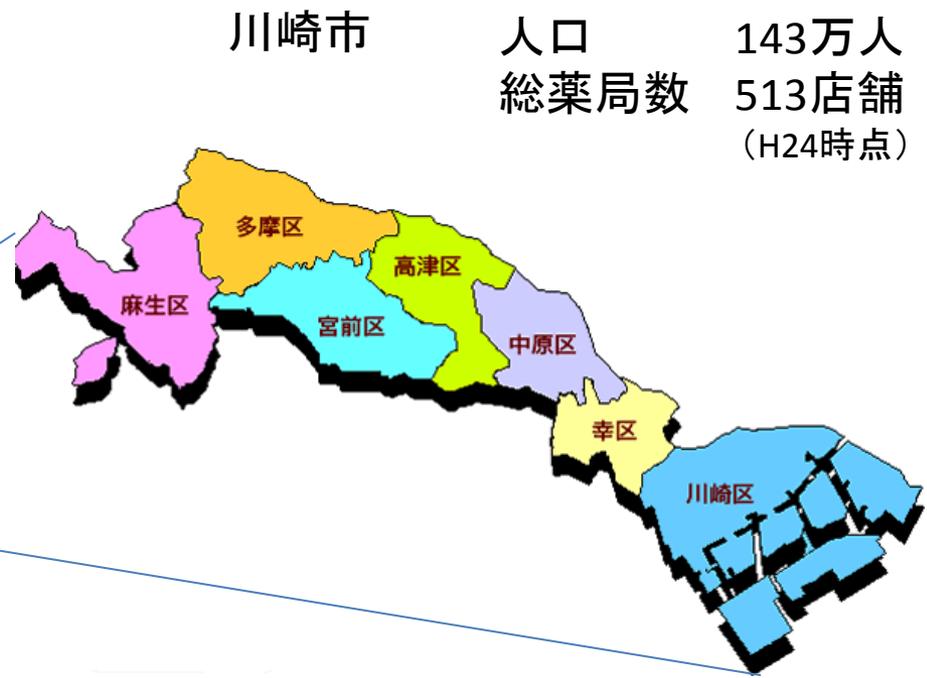
川崎市薬剤師会 伊藤啓

電子お薬手帳 harmo（ハルモ）活用の取り組み

1. 経緯
2. harmo（ハルモ）ご紹介
3. 試験運用の現状と普及に向けた取り組み
4. 利用者の声
5. 将来に向けた取り組み

1. 経緯

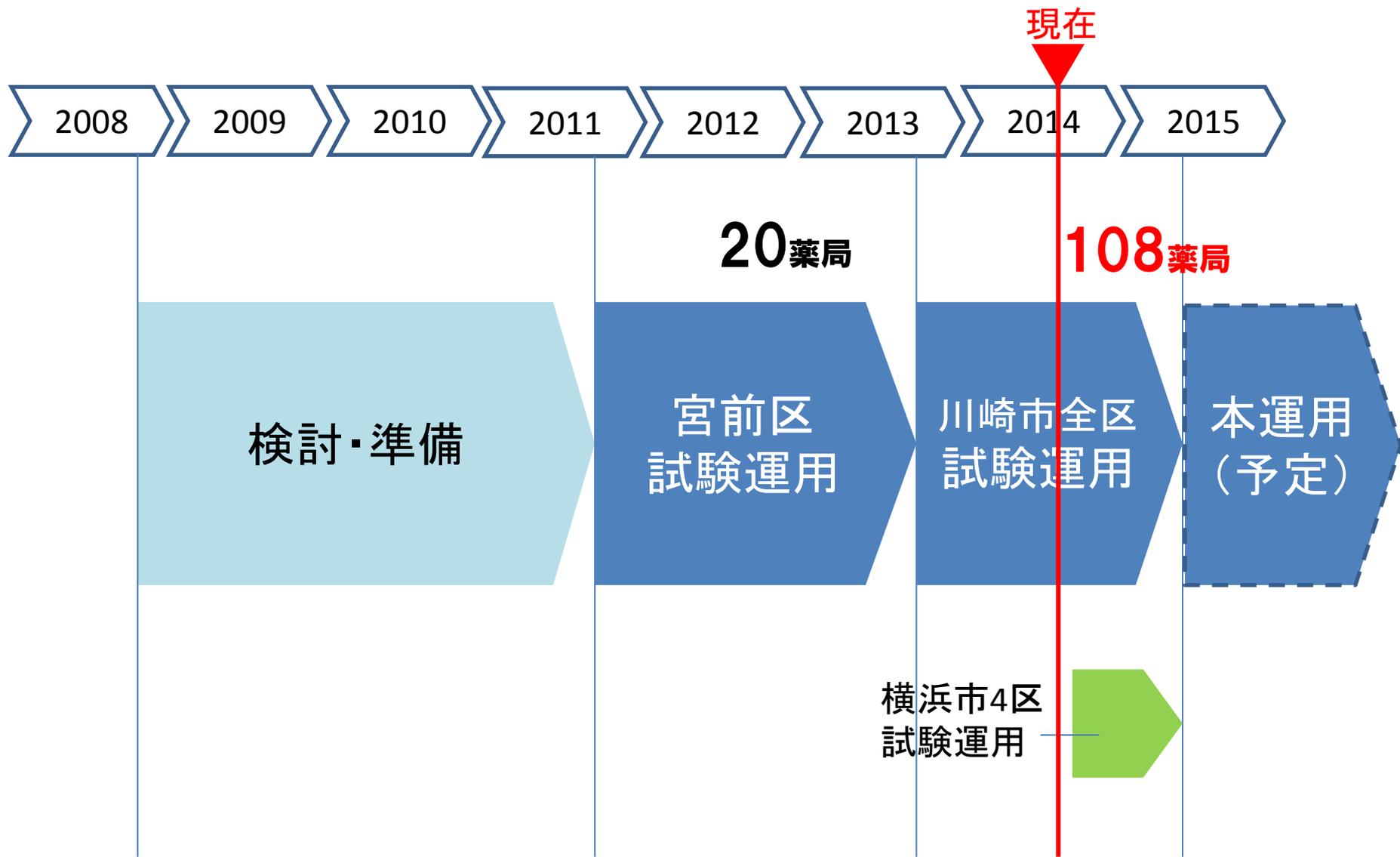
神奈川県川崎市について



神奈川県

神奈川県	人口	906万人
	総薬局数	3,444店舗 (H24時点)

お薬手帳の電子化に対する取り組み



川崎市展開にあたり三者協定を締結

【2013.11.14 日本経済新聞】

- 川崎市（広報）
- ソニー株式会社（技術）
- 川崎市薬剤師会（フィールド）



「電子お薬手帳」で連携
川崎市とソニー I C カード利用で

川崎市と川崎市薬剤師会、ソニーは15日、「電子お薬手帳」の試験サービスに関する連携協定を結ぶ。ソニーの I C カードを一般的な紙のお薬手帳の代わりに使い、病院で処方された薬の名前や服用履歴、副作用などの情報をクラウドサーバー上で管理する仕組みを導入する。市民の健康管理に役立つとみて、市内の200軒程度の薬局に参加を促す。試験サービスの期間は2015年3月まで。J R 東日本の「スイカ」などに採用されているソニーの非接触型 I C 技術「フェリカ」を使い、服用する薬の情報をカード1枚で管理する。具体的には、カードを

薬局で調り、て有る。動さ情報など

2. harmo (ハルモ) ご紹介

クラウドとICカードを用いたお薬手帳を中心とする情報共有システム

- 開発：ソニー株式会社
- 監修：東京大学
- 名前の由来：harmony（調和）



ソニー株式会社提供

harmo紹介ビデオへのリンク
(別画面で開きます)

ハルモを採用した4つの理由

1 高齢者でも使える



2 薬剤師に伝わる



3 災害時の信頼性



4 個人情報への配慮



タッチするだけの操作

- 患者の負担が少ない



スマホがなくても大丈夫

- カードだけで使えるシステム

スマホ
なくてもOK



スマホ
あればより便利



(1. 家族がスマホを持っていればより便利)

子供や高齢者はカードだけ。家族のスマホで情報管理。

➤ 夫婦で子供のお薬管理

➤ 遠方の親を見守り

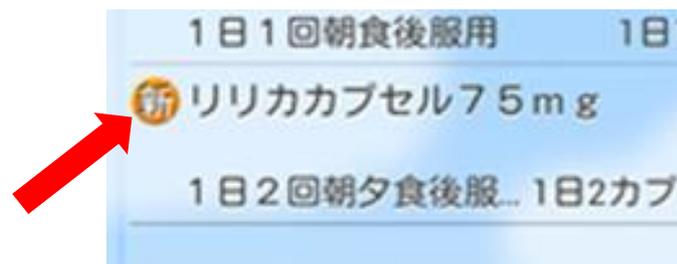


薬剤師のタブレットに表示

- 「見てもらう」ことを最重視
- スマホは心理的に渡したくない

ポイントを簡潔に表示

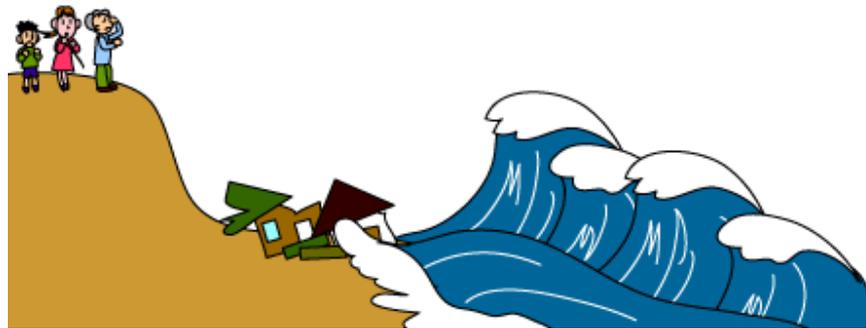
- 「服用中」「初調剤」等
- 患者が入力した「副作用」等
- 併用禁忌チェック（今後）



3. 災害時の信頼性

データはクラウドに保存

- 手元でなくしてもデータは残る
- 家族内でも共有可



カードは再発行可能

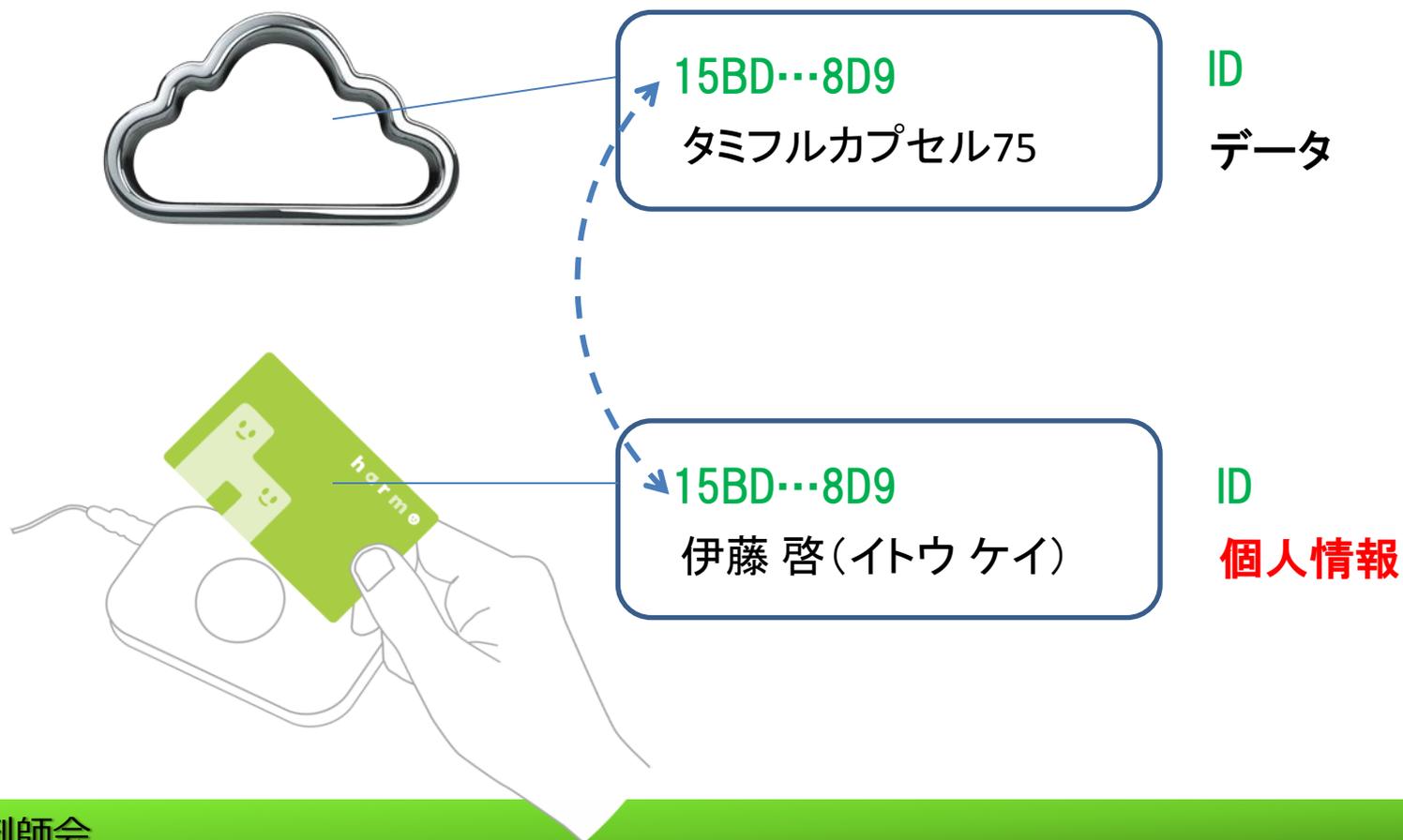
- 使ったことのある薬局で即時
- 同時に以前のカードは無効化



4. 個人情報に配慮したクラウドシステム

個人情報とデータを「分離」

- 氏名と薬歴を紐付けできるのは本人ただひとり
- カード内の個人情報も暗号化済

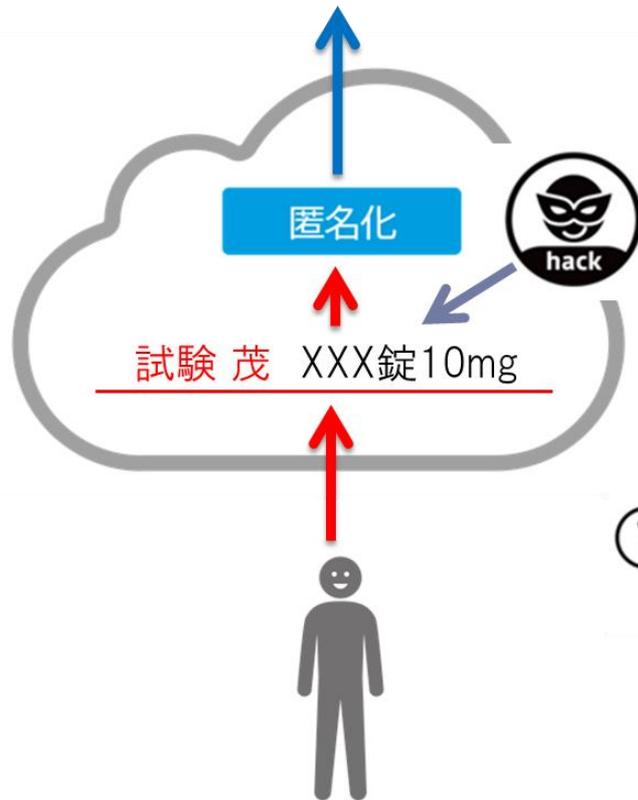


4. 個人情報に配慮したクラウドシステム (詳細)

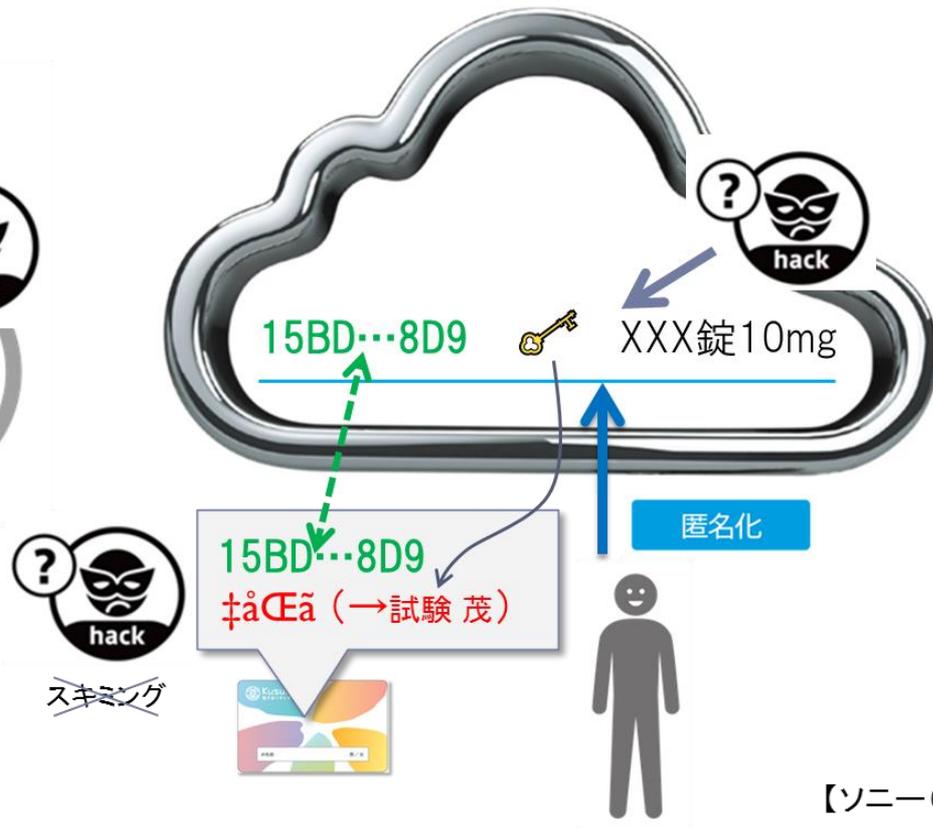
個人情報情報はカードに、データはクラウドに「分離」

【一般的なシステム】

2B5C...E92 XXX錠10mg



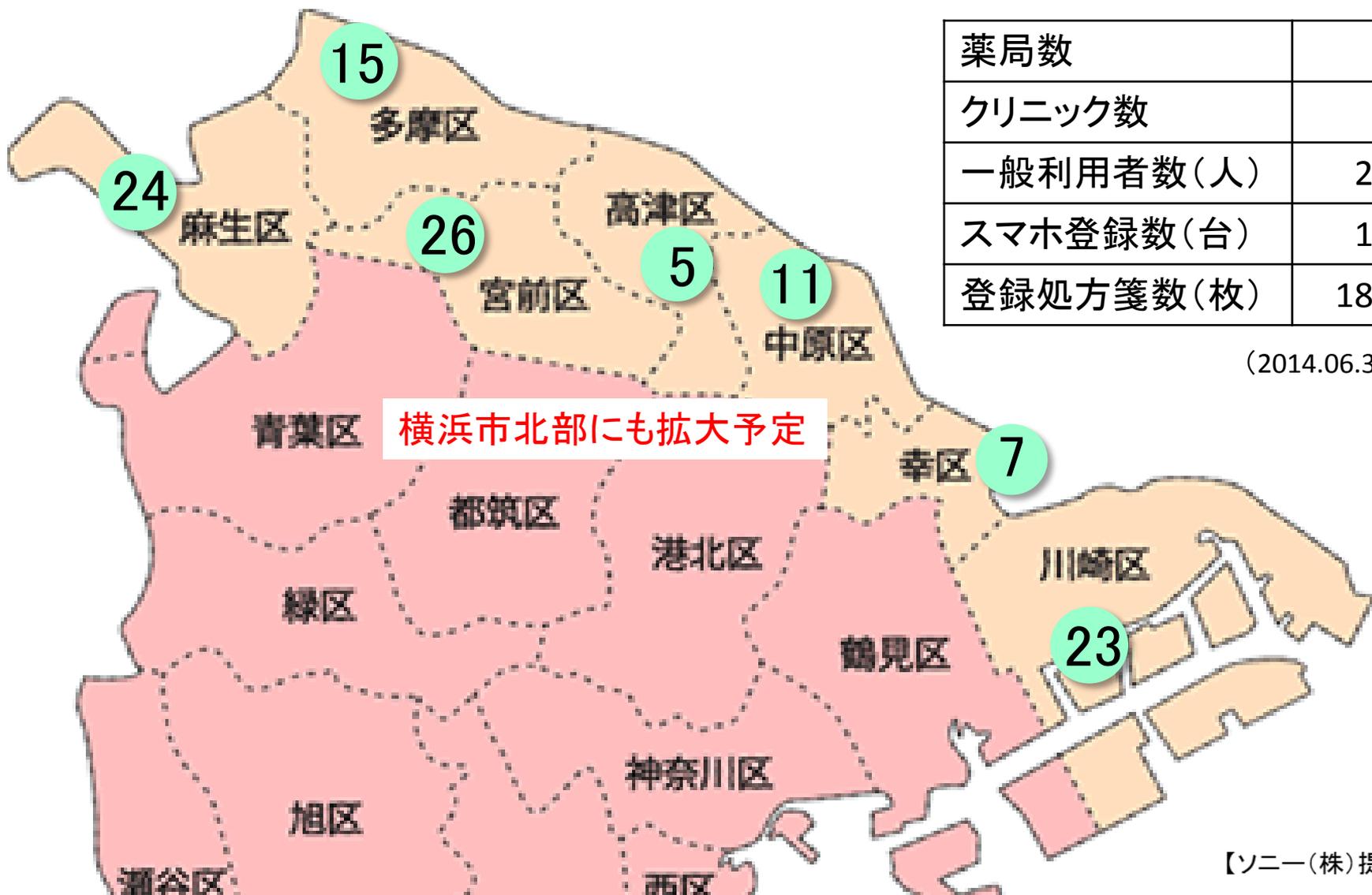
【個人情報に配慮したシステム】



【ソニー(株)提供】

3. 試験運用の現状と 普及に向けた取り組み

川崎市内における普及状況



薬局数	107
クリニック数	4
一般利用者数(人)	2,594
スマホ登録数(台)	1,194
登録処方箋数(枚)	18,116

(2014.06.30時点)

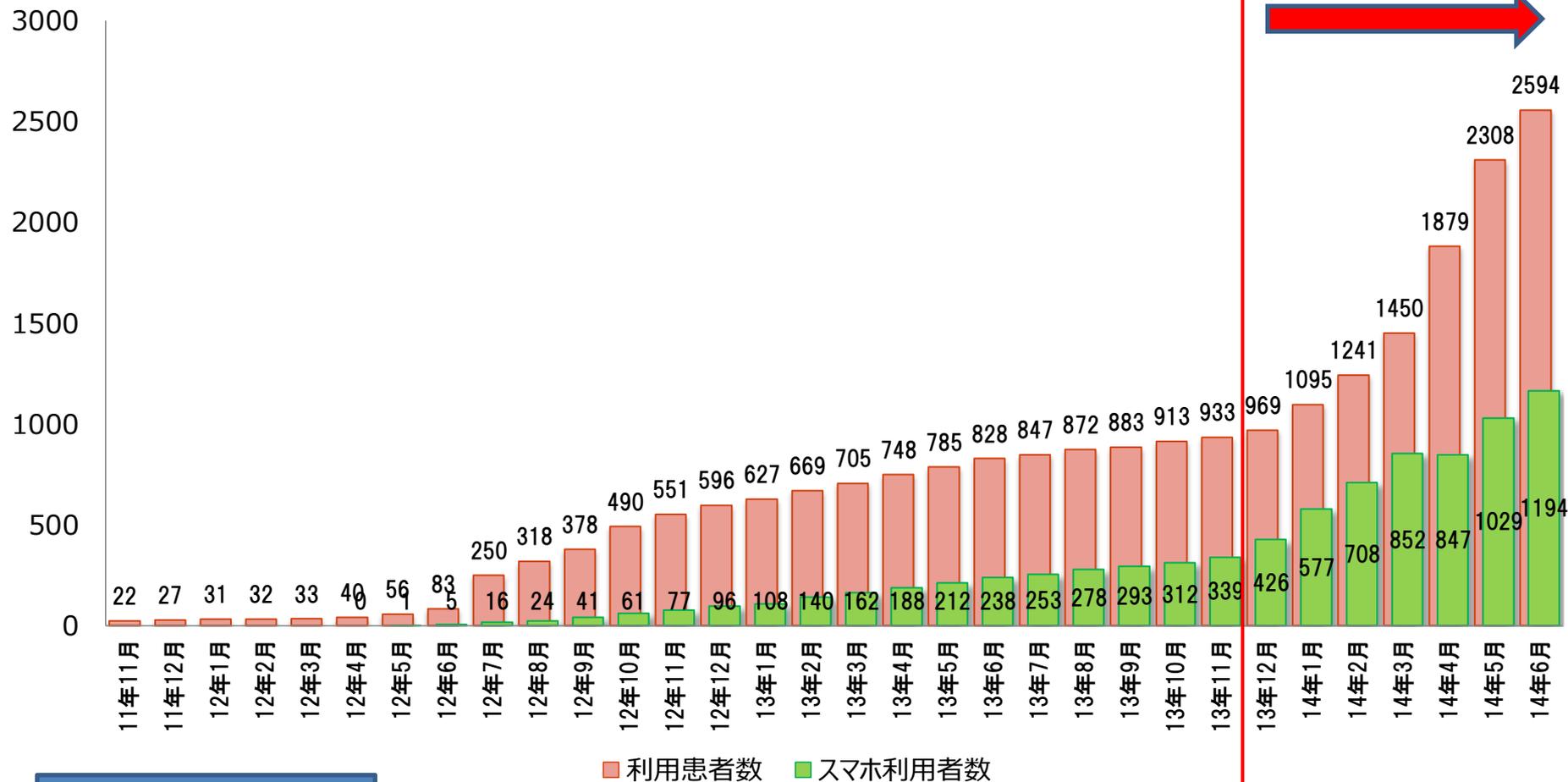
横浜市北部にも拡大予定

【ソニー(株)提供】

一般利用者数の推移



単位 (人)



川崎市
全域展開



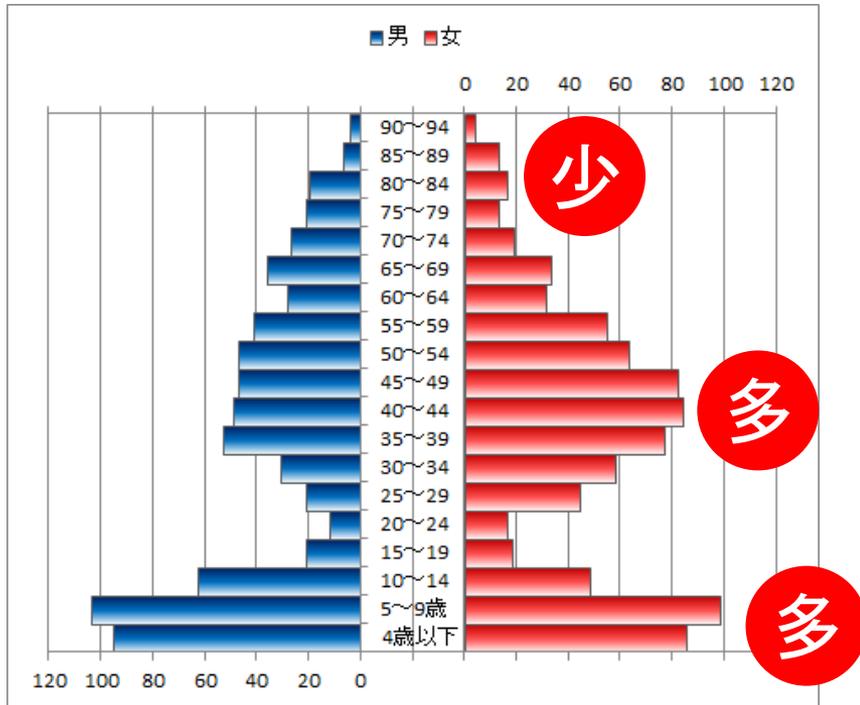
参加薬局・医療機関数

1 → 8 15 18 24 → 25 → 27 57 91 102 108 111

【ソニー(株)提供】

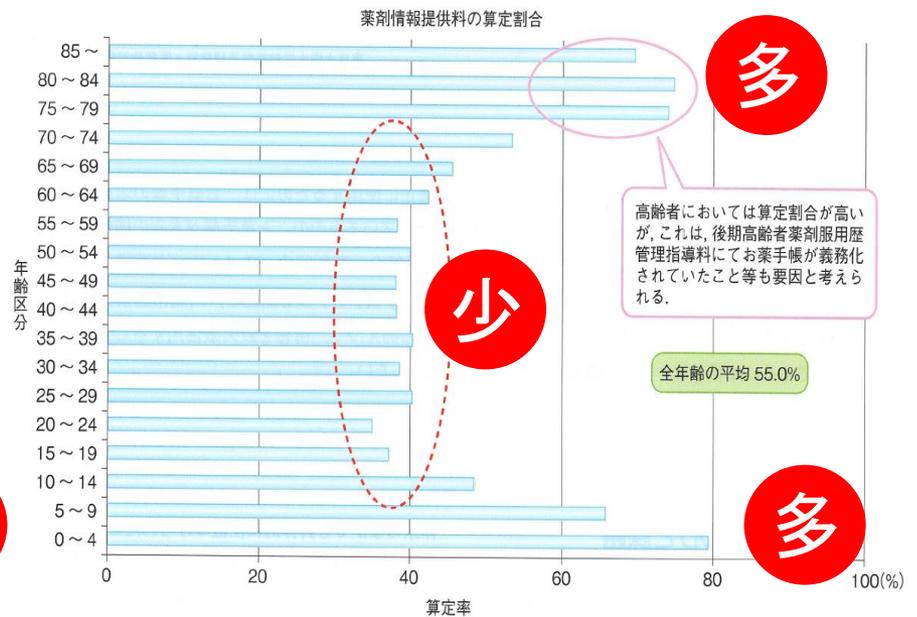
お薬手帳利用者との属性比較

harmo利用者



【ソニー(株)提供】

紙のお薬手帳利用者(全国平均)



【中央社会保険医療協議会：平成23年11月30日総会資料6、調剤報酬についてより】

ソニー(株)と協力し、説明会や運用に向けたサポートを実施

①募集説明会

②申込者向け
説明会

③薬局による
機材設置

④運用開始
サポート



①募集説明会

harmoを紹介し、試験導入を希望する薬局を募集。
各区毎に開催。



川崎市薬剤師会
嶋会長



申込薬局に「設置方法」や「使用方法」をガイダンス。



③薬局による機材設置

各薬局が自身で機材を設置。
薬局ごとに置き場所に工夫をしている。



④運用開始サポート

各薬局が主催するイベントを経験者がサポート。



来局者の利用を促進する工夫（実例）



ステッカー



ポスター



リーフレット



POPなど



JR川崎駅構内のサイネージ



川崎市役所の受付



4. 利用者の声

- おくすり手帳の電子化待っていました！こういうシステムが欲しかった！
(20後半～40代)
- カードなので持ち歩きやすい。忘れたときにも安心。
- 服薬時に家族の用法を確認できる。家族毎に飲ませやすい。

5. 将来に向けた取り組み

- 利用可能エリアの拡充による利便性向上
 - 隣接する横浜市へのエリア拡大に協力

【横浜市内における説明会の様子】



ご静聴ありがとうございました